



四中だより

令和元年11月29日
調布市立第四中学校
校長 菱沼省二

校長より

『東日本大震災から学ぶこと』…Part2

校長 菱沼省二

今年度、台風（15号+19号）の影響で、東日本の各地が、大変大きな被害を受けました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された地域の方々の生活が、一日でも早く回復することを願っています。

さて、12月16日（月）14:30、「震災からの復興やボランティア活動」についての講演会を本校体育館で開きます。

講師は、復興のために活躍している「元岩手大学客員教授の高橋寛先生」です。

東日本大震災は、東北や日本に大きな爪痕を残しました。しかし、辛い過去を乗り越え、前向きに生きようとする人々から、我々も学びたいと考えます。

飯館村の村長の文章…Part2⇒「お金で幸せを買う方法」

「幸せはお金では買えない」と言います。しかし、「お金で幸せを買う方法」があります。これは、カナダでのある実験です。

学生をAB、二つのグループに分け、同額のお金を渡します。Aグループは、「お金を他人のためだけに使う」。一方、Bグループは、「お金を自分のためだけに使う」。

実験後、それぞれのグループに「幸福度」チェックを行う。

「自分のためにお金を使った」Bグループより、「他人のためにお金を使った」Aグループの方が、圧倒的に「幸福度」が上がっていたそうです。

「幸福な生活」は「お金をたくさん持っていて贅沢に暮らす生活」のはずが、「他人の幸せ」のためにお金を使った方が、幸せを感じる程度が高くなる。

つまり、「他人を幸せにする」ことは、「自分を幸せにする」とイコールであると言うことに他なりません。

晩年に他人にお金を使う人は、必ず「やる気のある若者を支援したい」と考えるそうです。



原文（飯館村村長作）を一部省略修正 菱沼省二

この文章は、飯館村村長の菅野氏が、3年前に書いたものです。東日本大震災で被災した地域の方々は、多くの苦渋を味わっていることだと思います。

我々にできることは本当に少しのことです。しかし、本校の生徒や我々が、少しでもボランティアに関心を高め、できることを探すようになることを願っています。

12月16日、是非、本校の体育館へ来てください。※ご案内を裏面に記載します。

講演会（12/16）のご案内 14:30～ 体育館 ※保護者・地域の方も、ご来場ください！

『いのちの授業』+『オリ・パラ講演会』 講師 高橋寛 さん（元岩手大学客員教授）

演題 「我ら、忘れまじ～東日本大震災の教えるもの～」

内容

はじめに 「1%の疑問が解けた。」

1. 津波ってどんなもの？

- （1）湾が溢れた！（宮古市閉伊川河口）
- （2）あっ！家が！車が！船が！（釜石市両石湾）
- （3）町が、村が、無くなっ！（田野畠村島越）

2. その時、子ども達は？先生方は？

- （1）津波だ！逃げろ！（釜石東中学校と鵜住居小学校の子ども達）
- （2）津波、その速さは？

3. そして、人々は？関係者は？

- （1）100歳の嗚咽（柴田トヨさんの詩「被災者の皆様へ」）
- （2）流す涙を尽くす汗に（ボランティアとして立つ）
- （3）「可動艦、三陸沖に集結せよ」

4. 津波、その後

- （1）その被害は？（千年に一度の大津波）
- （2）世界は驚いた。「日本は再興する」（イタリア週刊誌グラビア）
- （3）私達は動かない。（釜石市唐丹中学校の子ども達）

5. 復興の槌音

- （1）そして、汽笛は鳴った。（三陸鉄道復興物語）
- （2）町を創る（陸前高田市の復興プロジェクト）
 - ・住いは高台、街はかさ上げ
 - ・震災記念公園、そして桜ライン311



6. 忘れてならないもの

- （1）自分の命は自分で守る：「津波てんでんこ」（釜石の奇跡）
- （2）そして、絆：「それは、優しさ」
「人生強くなければ生きて行けない。優しくなければ生きる資格がない」

おわりに 「明日は君たちのものだ。」

月の予定

12月の主な予定

2日（月）留学生が先生（1年） ⑤⑥校時	10日（火）全校朝礼 三者面談終 ③④カット
3日（火）生徒会朝礼 三者面談始（12/3～12/10） 午前授業 ①②カット 給食あり	11日（水）校内研修会 ※午前授業 ⑤カット
4日（水）三者面談 ⑤カット	16日（月）「命の授業」+「オリパラ講演会」 ※保護者、地域の方も来場ください。
5日（木）三者面談 ①②カット 色覚検査	23日（月）給食終 ※「平成の日」
6日（金）三者面談 ②③カット 色覚検査	24日（火）大掃除 ①～④カット
9日（月）三者面談 ⑤⑥カット 避難訓練	25日（水）終業式
	26日（木）冬季休業日始（12/26～1/6）